

事務事業名		綾里地区漁業集落環境整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																								
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																									
	施策名	0 1 地域活力を担う水産業の振興		区分																									
	基本事業名	0 2 漁業経営の安定支援		期間限定複数年度																									
根拠法令		-		※期間欄に計画期間を記入																									
所属	部課名	農林水産部水産課		【計画期間】																									
	課長名	新沼 秀樹		令和4 年度～ 令和8 年度																									
	係名	漁港漁村係	電話	0192-27-3111																									
	担当者	熊谷 孝弥	内線	378																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				※全体計画欄の総投入量を記入																									
<p>①国の農山漁村地域整備交付金事業により、綾里地区の水産飲雑用水施設(水道課で実施)及び漁業集落排水施設を整備するものである。</p> <p>②具体的な業務(事務)は以下のとおり。</p> <p>ア. 工事発注及び監督業務、イ. 交付金事業実施に係る計画策定・認可・申請・遂行状況報告・請求等の手続き</p> <p>③事業費は、飲雑用水施設整備(水道課で実施)及び雨水排水施設整備に使われている。</p> <p>④令和3年度までに漁業集落排水事業の最終意向調査を実施し、住民の意向にそった基本計画を策定し申請、国の承認を受け、令和4年より雨水排水路の詳細設計及び工事施工を進めている。</p>				<p>全体計画(※期間限定複数年度のみ)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>82,000</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>55,200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>20,600</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,200</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>164,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>4,150</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>16,600</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>180,600</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	0	都道府県支出金	82,000	地方債	55,200	その他	20,600	一般財源	6,200	事業費計(A)	164,000	人件費	正規職員従事人数	2	延べ業務時間	4,150	人件費計(B)	16,600	トータルコスト(A)+(B)	180,600
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	0																									
		都道府県支出金	82,000																										
		地方債	55,200																										
		その他	20,600																										
		一般財源	6,200																										
	事業費計(A)	164,000																											
	人件費	正規職員従事人数	2																										
		延べ業務時間	4,150																										
		人件費計(B)	16,600																										
		トータルコスト(A)+(B)	180,600																										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <p>排水路工事(1号排水路L=371m、2号排水路L=155m)を行った。 ※一部前年度繰越工事である。</p> <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>令和6年度は飲雑用水施設整備(水道課で実施)を優先するため、排水路施設整備は実施しない。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 漁業集落排水(雨水)施設整備(実施延長)</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>イ 実施事業費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 漁業集落排水(雨水)施設整備(実施延長)	m	イ 実施事業費	千円	ウ	
名称	単位								
ア 漁業集落排水(雨水)施設整備(実施延長)	m								
イ 実施事業費	千円								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
<p>・流れが悪く蓋の少ない既存の現場打ち雨水側溝</p> <p>・綾里地区の住民、綾里地区(白浜と野々前の一部、小石浜、砂子浜、小路は除く)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 漁業集落排水(雨水)施設整備(計画延長)</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>キ 計画事業費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 漁業集落排水(雨水)施設整備(計画延長)	m	キ 計画事業費	千円	ク	
名称	単位								
カ 漁業集落排水(雨水)施設整備(計画延長)	m								
キ 計画事業費	千円								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
<p>・勾配が確保されたプレキャスト側溝に入れ替える。</p> <p>・維持管理しやすくなる。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 漁業集落排水(雨水)施設整備進捗率(延長ベース)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 漁業集落排水(雨水)施設整備進捗率(事業費ベース)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 漁業集落排水(雨水)施設整備進捗率(延長ベース)	%	シ 漁業集落排水(雨水)施設整備進捗率(事業費ベース)	%	ス	
名称	単位								
サ 漁業集落排水(雨水)施設整備進捗率(延長ベース)	%								
シ 漁業集落排水(雨水)施設整備進捗率(事業費ベース)	%								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
<p>・悪臭や滞留が解消し、漁村全体の生活環境が向上する。</p>									

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	年度							
		2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)		
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	14,182	25,518	0	11,000
		都道府県支出金	千円	0	0	12,800	4,400	0	9,900
		地方債	千円	0	0	0	20,600	0	0
		その他	千円	0	0	0	600	0	1,100
	一般財源	千円	4,730	4,730	1,382	0	0	1,100	
	事業費計(A)	千円	4,730	4,730	28,364	51,118	0	22,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	2,160	2,160	1,350	800	400	800
		人件費計(B)	千円	8,640	8,640	5,400	3,200	1,600	3,200
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,370	13,370	33,764	54,318	1,600	25,200	
⑤活動指標		ア	m	-	-	49	526	0	218
	イ	千円	-	-	28,364	51,118	0	22,000	
	ウ								
⑥対象指標	カ	m	-	-	1,644	1,644	1,644	1,644	
	キ	千円	-	-	164,000	164,000	164,000	164,000	
	ク								
⑦成果指標	サ	%	-	-	3%	35%	35%	48%	
	シ	%	-	-	23.1%	48.5%	48.5%	67.6%	
	ス								

事務事業ID	1369	事務事業名	綾里地区漁業集落環境整備事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	市内中心部より生活基盤の整備が遅れている漁港背後集落の生活環境の改善を図るため、令和元～2年度(繰)に市単独費により基本計画を策定し、令和3年度に事業認可され、令和4年度から事業着手した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	水産庁所管の農山漁村地域整備交付金事業(補助率:1/2)を活用しての整備は飲雑用水施設および雨水排水施設となった。漁業集落道整備については補助事業のメニュー変更(農山漁村地域整備交付金事業から漁村整備事業へ移行)が生じた。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地元からは早期整備の要望があったものの、集落排水施設(污水)要望は低かった。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 集落内の生活基盤を整備することで、漁村環境を向上させ、豊かな市民生活が実現できるため結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 集落内の快適な生活環境の整備を行うものであり、市管理の簡易水道、集落排水施設、集落道等の公共施設整備のため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 当該事業は、国庫補助事業の認可が必要であり、必要最小限の事業メニューのため、対象、意図とも妥当である。
有効性評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 本事業は、集落内の状況及び地元要望も踏まえた計画により実施するものであり向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 本事業を廃止・休止することにより、市内中心部との生活環境の格差が拡大する。
効率性評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 污水処理施設(漁業集落排水施設)について、市が整備する集合処理方式ではなく、個人で整備する個別処理方式(合併浄化槽)とすることで事業費削減の余地はある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 適切な事業管理をするために最低限必要な人員で事業実施したものであり、削減余地はない。
公平性評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 漁業集落排水施設は、集落内世帯の受益者負担が伴う。それ以外の施設は、極めて公共性の高い施設であることから、受益者負担にはなじまないものである。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	雨水排水施設整備については現状どおり継続して事業を実施する。(漁業集落道整備については漁村整備事業にて実施する。)
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	令和3年度に事業実施方針が決定したことから、令和4年度以降、測量調査及び環境整備を実施していく。なお、補助事業のメニュー変更(農山漁村地域整備交付金事業から漁村整備事業へ移行)が生じることから、諸手続きを円滑に実施していく必要がある。